

第4回広陵町ごみ処理町民会議議事概要

開催日時 平成26年 8月28日（木曜日）

※ 視察地（丹波市）が水害被災のため、急遽予定変更しクリーンセンター
広陵の施設見学と第4回町民会議を実施

午前8時00分～ 施設見学会

午前9時30分～ 第4回広陵町ごみ処理町民会議

開催場所 クリーンセンター広陵 3階 研修室大

- 鍵谷会長挨拶
- 副町長挨拶
- 新しい委員の紹介（学識経験者 小西委員、一般公募 山崎委員）

(1) 処理施設視察結果について

(2) 次回視察予定施設の概要について

以下議事概要

- ・ 5月20日の視察結果については、提出した資料を参考にする。
- ・ 延期となった次回の視察は、視察先の復旧状況を見ながら実施する予定ですが、遅くとも年内中にはと考えている。
- ・ 現施設における緊急対策として実施した、場内速度1.5km以下の安全対策と飛灰のダイオキシン低減対策として実施した、地場産業育成のためこれまで受け入れていた産業廃棄物の持込禁止についての経緯及び状況等説明。
- ・ 議事録の公開については、本会議において意見をまとめた上で決定していく。
- ・ 町民会議の活動自体、もっと広報していく必要がある。
- ・ 飛灰のダイオキシン削減対策より、一般的なダイオキシンの発生原因及び削減対策について会長より説明。
- ・ 前回視察した2か所（橋本・岩出）のごみ処理施設は、山の中で建設されていたが、広陵町には同様の山がないので、もっと本町の条件にあった先進地の視察を検討してもらいたい。
- ・ 次回視察予定の兵庫県南担広域行政事務組合の南担クリーンセンター（焼却+バイ

オマス方式) について、以前に視察されている会長より施設概要の説明を受けました。

○前回視察したうえでの各委員の意見

- ・ 前回視察した2か所の施設については、非常によくできた施設であったと思います。
- ・ 同施設はストーカ方式の焼却施設で維持管理費も安い方式である。
- ・ 流動床方式の焼却炉はストーカ方式より約3割程度維持費が高くなる。
- ・ 岩出市の熔融炉は、国施策としてダイオキシン対策と灰の熔融による最終処分地の軽減対策から建設された経緯があるが、近年のリサイクル推進によるごみ質のカロリー低下及び燃料費等の高騰により、維持管理費が非常に高くついているのが現状である。
- ・ 現在、国の交付金を得るためには、単純焼却では厳しい状況であり、発電設備等を設置しエネルギー効率を規定値以上にあげる等必要がある。
- ・ 議論するうえで今の段階では、専門的でかつ複雑にからみあって難しい状況である。例えば補助金制度や運転管理技術等、もう少しテーマを絞っていけば、お互いに議論しやすくなるのではないか。
- ・ 視察先において処理方式を決定した経緯を明確にしていきたい。
- ・ 広陵町の方針として、単独若しくは広域で行うかを決定していただいた上で、視察先を選定していくべきではないか。
- ・ 現段階で決定することは大変難しい状況です。いま言えることは、すでに計画され事業を進められているところに参入していくことはできませんが、老朽化した施設を抱えた周辺市町と広域で行うことは可能性としてありますので、各市町の思いもありますので単独と平行しながら慎重に進めていきたいと考えています。
- ・ 広域で計画するのはベストだと思いますが、もう少し具体的な内容がないと論議も進められない。また、視察した2か所の施設について、1か所は広域で立派な施設であり、他の1か所は施設の処理方式から考えると、ともに広陵町には不向きな施設ではないかと思えた。
- ・ 補助金制度に基づいて、処理方式等を決定するのではなく、ごみの分別等も含めたトータル的な視野に立って決定していくことが重要である。
- ・ 視察した施設は建設後数年を経過しているので、もっと新しい技術を持ったメーカーで、広陵町にあった方式を検討すればよい。
- ・ 広陵町に見あった規模の焼却施設もあるが、国は100トン/日以上。できれば300トン/日以上。24時間運転を推奨しています。
- ・ 現段階で広域や単独と決定しないで論議している状況ではない。一刻も早く町で決定し前に進めなければ、期限までにはとうてい間に合わないのではないか。早急に進めてもらいたい。
- ・ 当初、県の広域計画は地元を無視したものであったため、実現できるような内容ではなかった。現状としては県主導で実現できる状況ではなく、各市町で広域化を進め

ていかなければならないと考えている。近隣においては、各施設が老朽化し対策に苦慮されている現状から、いまは具体的な内容をお示しすることは難しいけれど、全力をあげて、地元との約束を遵守するために取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。

- ・ 広域化計画の中で、水面下で進められている具体的な内容を現段階で提示することは難しいが、近隣市町の現段階の一般的な情報を提示してまいります。
- ・ 期限が迫っている状況で、いつまでに結論を出しますと明言していただかないと、委員として信用できない思いも生まれる。
- ・ 当初の本会議の資料で、地元協定に基づいた計画概要が示されている。
- ・ 地元としては当初の協定において、15年間の操業とあと2年あまりで、次の候補地を決定することになっているので、町はそれを必ず守るものと考えている。現施設が公害も出さない立派な施設運営をなされている現状から、次の候補地については、町内のどこであっても建設可能ではないか。また、広域についても広陵町で実施するという気構えで進めていかなければ実現は難しいと思う。
- ・ 広域又は単独による施設づくり案が出ていますが、地元との協定で期限が定められていますので、協定どおり2年以内には次の候補地を決定し計画を進めてまいります。
- ・ 協定を遵守するためには、現在、単独・広域・民間委託の3つの選択肢があるが、まず建設が実現するための強い決意をもって押し進めてまいりますので、御協力をお願いしたい。
- ・ 現在いくつかの候補地をもっておられるのか。また、選定にあたっては、まず敷地の必要条件を定めて候補地を選定していくべきではないか
- ・ 候補地については、現段階では広陵町のどこだという設定はしていない。
- ・ 民間委託の選択肢もあるが、一般的に委託費の高騰、処理設備の不具合等で受け入れ制限等のリスクも実例としてある現状から、恒久的に民間に処理委託をすることは好ましいとはいえない。
- ・ 広陵町が以前、建設までの期間に委託した民間の会社は、地元貢献もされ地域に密着した、優良な企業であり、委託費も軽減できる可能性もあるため、民間委託も選択肢の一つに加えるべきである。
- ・ 皆様からいろんな意見が出ましたが、これを繰り返して行けば、今後これらを集約しながら、まとまっていくものと考えている。

以上